

# これからの時代の地域デザイン2

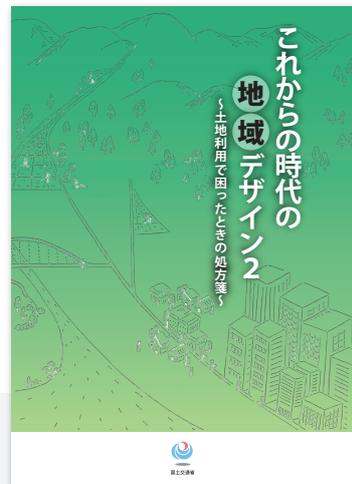
## ～土地利用で困ったときの処方箋～

本ガイドラインは、人口減少下で地域の土地の使い方について困っている市町村職員や地域住民に向けて、「検討・実施の手順」「留意点」「参考事例」等を解決の糸口として提示することで、持続可能でより良い土地の使い方の実現を目指すものです。

### 1 地域の土地の使い方について困っていませんか？

- ・管理されない土地はありませんか？（森林、農地、宅地、その他）
- ・今までの使い方ができなくなる土地はありませんか？
- ・土地利用による地域への懸念はありませんか？（災害リスク、自然環境の喪失、地域産業・財政の低迷）
- ・よりよい土地の使い方を考えてみませんか？

A4 版カラー 47 ページ  
平成 31 年 3 月発行  
●冊子をご希望の方は国土管理企画室  
(03-5253-8359) へお問い合わせ下さい  
●国土交通省 web サイトからも  
ダウンロード可能です  
[http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/fukugou-sentaku\\_kokudoriyou.html](http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/fukugou-sentaku_kokudoriyou.html)

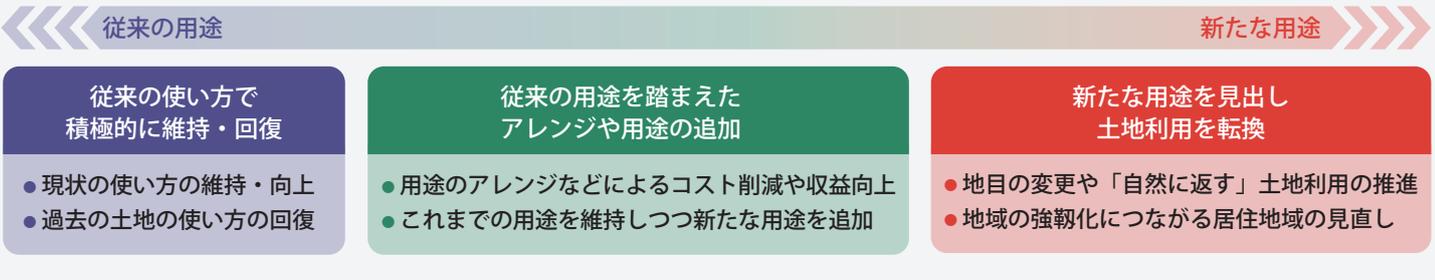


### 2 地域の土地の現状を把握・共有する

- ① 土地の課題や活用可能性を把握する + ② 土地の所有者や境界を把握する → ③ 土地の現状の「分析・共有」「見える化」を図る

### 3 土地の使い方を選択する

#### 3-1 地域に適した土地の使い方を選択する 「地域自らが選択」



#### 3-2 土地の使い方による効果を整理する



一つの取組で重複して発揮されることを意識

## 4 土地の使い方を実現するときに留意すべき課題

### 人（主体）

取組の担い手や  
主体の確保、  
役割分担について



#### 課題 ①：人（主体）の確保と維持

- i) 継続的に関与できる内外の人材や活動組織の確保
- ii) 専門的な知識や技術を有する人材の確保  
— 「多様な効果」を生むために—
- iii) 取組への参画の動機付けとモチベーションの維持

#### 課題 ②：主体間の役割分担と意識の共有

- i) 多様な主体の参画の推進と役割分担の明確化  
— 「多様な効果」を生むために—

### 土地

土地の使い方の検討、  
土地利用に係る  
合意形成について



#### 課題 ①：土地所有者との合意・調整

- i) 土地所有者との合意形成  
— 選択した「土地の使い方」の実現のために—
- ii) 地域住民や他の土地所有者との利害調整  
— 「土地の使い方」による利害が相反する場合を想定—

### 仕組み

継続的な資金確保及び、  
その枠組み・仕組み  
について



#### 課題 ①：国土の国民的経営の推進と国土管理活動の収益化

- i) 地域外の住民・団体を巻き込んだ国土の国民的経営の推進  
— 資金・人材の担い手として—
- ii) 土地利用の収支の改善  
— 採算性に課題のある土地利用の持続に向けて—

#### 課題 ②：公的な資源等の有効活用

- i) 公的機関等の多様な知恵・支援の活用  
— 「多様な効果」を生むために—
- ii) 部局横断的な対応や横断的視点を持った対応  
— 「多様な効果」を生むために—

## 5 取組の継続に向けて

### 5-1 状況や計画を共有して継続性を担保する

① 関係者の合意を継続させるために工夫する

② 法定計画を有効に活用する

持続可能でより良い地域の土地の使い方を実現

参考資料： 事例一覧、国土の利用・管理に活用しうる補助金等、参考ウェブサイト

● 冊子をご希望の方は、国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土管理企画室（03-5253-8359）へお問い合わせ下さい。  
● 国土交通省 Web サイトからもダウンロード可能です。

[http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/fukugou-sentaku\\_kokudoriyou.html](http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/fukugou-sentaku_kokudoriyou.html)

【平成 31 年 3 月】



国土交通省



この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場  
で製造されています。